

1 研究開発プロジェクト名:

疾病による交通事故を未然に防ぐシステムの構築 ~ 運転中の心電図判定システムの開発 ~

2 当該年度の研究開発プロジェクト実施予定期間:

2017年4月1日から2022年3月31日 / 5年計画の2年目

3 応募者

氏名	小倉 真治
所属機関	特定非営利活動法人 岐阜救急災害医療研究開発機構
所属部局	
職名	常務理事

4 研究開発プロジェクトの概要

研究開発プロジェクトの発案した目的、及び背景・対象となる社会課題：

運転者の疾病により交通事故に至る場合、心臓疾患である頻度は高い。心臓に起因する失神として徐脈や頻脈が挙げられ、ごく短時間で意識は回復するが、その短時間の失神が交通事故につながることは想像に難くない。本研究の目的は運転中にドライバーの心電図をとり不整脈を的確に解析し、緊急時は自動で車両を路肩で停止できるシステムを開発することである。

研究開発プロジェクトの実施で予想される直接的・間接的效果：

交通事故は加害者、被害者を作り出し非常に不幸な顛末をたどるため、疾病が原因で起きる現時点では「やむを得ない」と考えられている交通事故を 予防 することは社会的に意義が高い。

研究開発プロジェクトの対象となる「[C]重きを置くべき取組」の適応区分：

住民が安全に安心して日々の生活を営むことができるように生活行動等の支援技術の研究開発の推進

研究開発プロジェクトと対象領域との関連性：

高齢者が高齢者を介護するいわゆる老老介護のため、郊外においては通院のため自動車の運転が必須となる高齢者も多い。加齢により疾病に罹患する確率は上がり、運転中に発症するケースも少なくない。

研究開発プロジェクトの具体的実施計画：

AED に採用されているアルゴリズムにより心電図の診断は可能であり、車両の自動運行システムもすでに開発されており、座席における心電図の計測が可能となれば実現は可能である。そのために衣服の上から心電図の計測が可能にすること、車両の振動を緩衝するためのタイヤを含んだ車両の改良を行う。